

海洋生物の毒を巡る化学コミュニケーション

高田 健太郎 博士

北里大学海洋生命科学部 准教授

日時：10月3日（木） 16:00～17:00

場所：理学部A館 A222号室

海洋生物からは、化学構造の多様性に富んだ生物活性物質が多く発見されており、医薬品や研究試薬として利用されている。これらの天然有機化合物は海洋生物に共生する微生物が生産すると考えられているが、その詳細はほとんど明らかにされていない。セミナーでは、海綿動物由来の毒性物質に焦点をあて、カイメンー微生物、および、カイメンーウミウシの化合物を通じた関わりを紹介する。



GTR

Transformative Chem-Bio Research
Nagoya University

世話人：五島 剛太（内線6175）